

～省エネで経営力アップ～

Vol.1 オフィス・事務所編

“省エネ”+“創エネ（太陽光）”で
電気代を76%削減！



オフィス・
事務所

ホテル・
旅館・
宿泊業

製造業

飲食業

小売業

運輸業

省エネからはじめる 経営力アップ！

沖縄は、観光客の増加などによる経済の好調さを背景に、エネルギーの消費が拡大し続けています。企業活用においては経営課題を見つけ、ひとつひとつ取り組むことが重要ですが、資源の少ない我が国ではエネルギーの有効利用を図ることが必要です。エネルギーをコストの一部と捉え、省エネにより節約できた分を利益と見なすことが重要となっています。

しかし、「省エネや節電をしたいがどうすればいいかわからない」、「すでに組んではあるが、更なる改善を図るため、専門家の意見を聞きたい」、「電気代やガス代などのエネルギーコストを削減したい」など、様々な疑問に対して、課題解決の方法、取組事例を紹介します。

省エネの重要性

省エネは、エネルギーの安定供給の確保と地球温暖化防止の両面の意義があります。地球温暖化防止については、温室効果ガスの大部分を占めるエネルギー起源の二酸化炭素の排出削減に向けて、省エネの必要性が一層高まっており、日本政府はパリ協定において2030年に

向けて、2013年度比でCO₂（二酸化炭素）の26%の排出削減を約束し、官民一体となった取り組みを行っています。一方、企業においては、経営環境などが変化する中、エネルギーの効率的利用に向けて、課題の発見や新たな取組など、知恵を絞って省エネ取組を模索されていることと思います。

オフィス・事務所向け 省エネ対策

全体のエネルギー消費量の60%を占める業務部門で、特に空調や照明にエネルギー消費するオフィスや事務所における省エネ対策は非常に重要です。

空調設備では、温度設定の管理や換気扇の運用見直し、高効率な設備への更新で、照明設備では、不要な電気の消灯やLEDへの更新、センサーの導入による効率的運用などで省エネをすることが出来ます。

また、ブラインド・カーテンや遮熱フィルムを利用して日射負荷を抑えることで、空調負荷を下げる事ができるほか、パソコンの画面の輝度調整や節電機能を使うことで、簡単に省エネに取り組むこともできます。

お得！

蛍光灯 200 台を LED に更新すると **301,488 円／年削減！**
(80W/台・更新前- 36W/台・更新後)×200台×250日(1年間の営業日数)
×8時間×0.01713円/Wh=301,488円/年

空調の設定温度を夏期に 1℃変えると **47,000 円／年削減！**

対象設備：空調機10台 電動機容量 計55.2kW
省エネ効果：電力量2,956kWh/年の削減

お得！

「ZEB」とは Net Zero Energy Building（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の略称で、「ゼブ」と呼びます。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のことです。

また、エネルギー収支を100%以上削減したものを「ZEB」、75%以上を「Near-ZEB」、50%以上を「ZEB Ready」の3段階に区別されています。

今回の「事務所・オフィス編」では、年間のエネルギー収支76%の改善を見込んでいる琉球銀行本部支店の取り組みを紹介いたします。

■取組のきっかけ・背景

琉球銀行では、環境に配慮した店舗作りを進めています。また、県内企業の省エネ設備を導入するなど、県内企業のサポートも積極的に行っています。

■県内初！

Nearly ZEBの実現

本部支店では、光熱費のランニングコストを大幅に抑えた建物を実現し、年間のエネルギー収支を75%以上改善できる建物として*Nearly ZEB

（ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング）の認定を受けました。

■主な取り組み

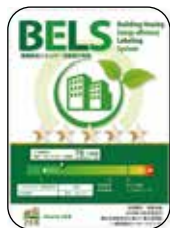
本部支店では、空調と照明の負荷低減を図ることが重要になることから、①放射式冷房システムなどの導入による空調負荷の低減、②LEDや人感センサーなどを利用した消費エネルギーの削減【省エネ】、③デマンド監視装置を設置することにより契約電力の推移の観察【エネルギーマネジメント】、④太陽光発電設備（20kW）の導入【創エネ】により年間エネルギーの収支を大幅に抑え経営改善を図っています。

■改善効果と今後の取組

県内初！ Nearly ZEB 認定 琉球銀行 本部支店



〒905-0212
本部町字大浜 878 番地 1
TEL.0980-47-2600



Nearly ZEB
認定マーク

<主な省エネ対策>

- ①空調負荷低減
- ②LED 照明への交換
- ③デマンド監視
- ④太陽光発電設備 (20kW)

省エネに取り組んだこと
によって、年間
エネルギー収
支76%の改善
を見込んでい
ます。具体的
には、空調・
照明などの導
入による省エ
ネで50%以上

を削減した上で、本部支店で利用する電気を太陽光発電で75%以上賄っています。その結果、「お客様のみなならず、従業員からも快適度が向上した」さらに、「従業員の省エネ意識も向上し、こまめな節電につながるなどの効果が現れています。今後も積極的に環境に配慮した店舗作りを進めていきたい」と、担当の安藤さんは意気込んでいます。また、同支店の大山さんは「支店は、海洋博公園向けの幹線道路に面しているので、お客様や観光客の方には、いつでも気軽に利用してほしい」とご案内がありました。



支店に導入された太陽光発電設備



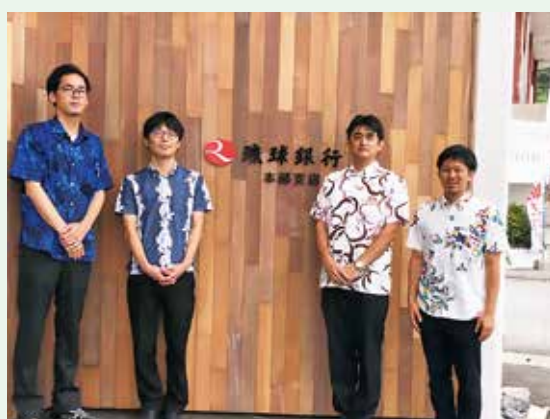
金秀アルミ工業社の
放射式冷房システム「エコウィン」

○省エネ設備・機器導入費用補助支援

○省エネの悩み、何でも相談（相談窓口）

○無料の省エネ診断

一般財団法人省エネルギーセンターによるおトクな支援情報



建築設計に携わった担当者と記者



琉球銀行：安藤さん

～次回予告～

省エネ最前線

Vol.2 ホテル・宿泊業・旅館業編

